

危険な道路を早く見つけて、早く対策へ

— 一般質問での質疑応答（交通安全対策） —



子どもたちの
「いのち」を守る
安全なまちへ

Q1 危険箇所の把握と管理は？



通学路や交差点などの危険箇所を市がきちんと一覧で把握し、関係部署で共有し、市民にも分かる形で公表すべきでは？

A 市の答弁



通学路交通安全プログラムは継続します。
危険箇所を一覧で管理し、関係部署で共有するとともに、危険箇所の周知や対策の充実を進めていきます。



方向性 危険箇所の把握・共有・公表を強化

Q2 事故が起きた交差点の対策は？



最近、事故が発生した交差点では、どのような対策を行うのか？

A 市の答弁



事故が起きた交差点では、停止線を強調する工事を実施しました。
今後も、必要に応じて路面標示の強化や注意喚起など、再発防止に向けた対策を行っていきます。



Q3 交通指導の担い手確保は？



児童の見守りや交通指導を行う交通指導隊の活用や、担い手の確保について、どのように考えるか？

A 市の答弁



交通指導隊の活用を進めるとともに、担い手の確保についても検討していきます。地域や関係団体との連携も強化し、継続的な見守り体制の充実を図ります。



主な対策の具体的イメージ

1 危険箇所の把握・管理・公表

- ・通学路や交差点を一覧化
- ・関係部署で共有
- ・市民にも分かる形で公表



2 交差点の安全対策

- ・停止線の強調
- ・路面標示の地化
- ・注意喚起の看板設置 など

停止線を強調

3 交通指導隊の活用・担い手確保

- ・交通指導隊による見守り活動
- ・地域・関係団体との連携
- ・担い手の確保・育成の検討

4 通学路の安全対策

- ・見通しの悪い箇所の改善
- ・歩道の整備
- ・スピード抑制対策 など

5 事故情報の活用

- ・過去の事故データを分析
- ・再発防止に向けた重点対策



6 市民への周知・啓発

- ・危険箇所マップの公開
- ・交通安全教育の充実
- ・地域との情報共有



目指す姿 危険な道路を早く見つけて、早く対策へ

子どもたちが
安心して通える通学路

事故のない
安全な交差点

市民みんなが
安心して暮らせるまち